

# 瀬戸内ミカン畑農家のために 生まれた技術がネパールへ！

環境に配慮にした物資輸送技術（モノラック）を学ぶ  
ネパール国より民間企業の4名が来日

～ネパール国の山間地域での生活・農業分野と災害対策に寄与～

- 世界最高峰のエベレストで有名なネパールは、国土の8割を険しい山岳地帯が占めており、急な斜面での農作業や土木作業は人力や動物に頼る輸送が行われています。これに対し株式会社ニッカリ社（岡山市）は、急峻な斜面における安全で効率性の高い資機材や人荷運搬に寄与するモノラック（ニッカリ社モノレール製品名）のネパールでの導入を目指し、2023年度からJICA（独立行政法人 国際協力機構）の「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」を活用し「モノラック導入にかかるビジネス化実証事業」を実施しています。

- 本事業では、ネパールの山間地農業における困難な人荷輸送や斜面災害に対して脆弱な環境下での作業にニッカリ社のモノレールを普及することで、人力運搬から機械運搬に転換させることが可能であるかを実証し、ニッカリ社の特性を生かしたビジネスモデル構築が可能であるかを検討することを目的としています。

- 本事業の一環として、ネパールの企業から4名の関係者が来日し、農業用や防災用モノレール等の試乗、実際の工事現場の視察を行い、当該技術の理解を深める機会を提供します。加えて、同社のネパールでの将来的なビジネス展開にかかる概要を取りまとめることを目的としています。



写真ニッカリ社提供  
(農業分野におけるモノレールの活用)



写真ニッカリ社提供  
(工事現場におけるモノレールの活用)

- モノラックは、日本で初めて山間地のミカン農家の重労働、危険作業軽減のために開発されました。そして日本ではニッカリ社がトップシェアを占めています。ニッカリ社のモノレールの特徴としては、エンジンを搭載し最大斜度 45 度までの登坂が可能です。また、特殊な安全装置搭載により荷物専用だけでなく人荷併用輸送機として本邦で認可を得て普及しています。設置は、ラックの付いたレールを現地の地形に合わせて施工し、支柱を土中に打ち込むことで完了する簡易かつ融通性のある構造であり、台車の選定により人荷を使い分けるといった特徴を有しています。

## 1. ネパール関係者の本邦受入概要

受入期間：2024 年 6 月 17 日（月）～21 日（金）

目的：日本製の安全かつコンパクトなモノレールを普及・展開することで、山間地農業、インフラ整備への貢献を目指し生活改善を促進させ、山間地の災害対策を目指す。

対象者：ネパール国の民間企業より招聘者 4 名

## 2. 取材可能日時

本邦受入れの際の取材対応可能日についてお知らせします。

取材問合せの締切日は、6/14(金)までをお願いします。

日時	場所	内容
2024/6/17（月） 14:00～16:00	株式会社ニッカリ 岡山県岡山市東区西大寺川口 465-1	モノラック製造工場視察や試乗
2024/6/18（火） 10:00～11:00	ひろしま遊学の森 広島市森林公園(広島市東区福田町字藤ヶ丸 10173 番地)	観光用電動モノレールの試乗・現場視察
2024/6/18（火） 14:00～15:00	島根県出雲市斐川町 ※詳細はお問い合わせください	防災用 3,000kg 級モノレール稼働現場視察

※取材をご希望の場合は、集合時刻・場所等をお知らせしますので、下記問い合わせ先にご連絡ください。ご質問等あれば併せて承ります。

【関連リンク】「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」概要

[https://www.jica.go.jp/priv\\_partner/activities/index.html](https://www.jica.go.jp/priv_partner/activities/index.html)

【本件に関する問い合わせ・申込み先】	
JICA 中国 総務課 TEL：082-421-6300 E-mail：cictad@jica.go.jp	担当：藤原、森山、別本 FAX：082-420-8082

地球から世界へ、世界から地球へ  
～元氣をつなぐ JICA 中国～

JICA 中国ウェブサイト 